

様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年 3 月 8 日

市川市長

団体名 緑のみずがき隊

(団体番号 10 )

代表者名

所在地

令和4年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	190,827円
(2) 補助対象経費総額	170,000円
(3) 補助金交付決定額	85,000円
(4) 補助金交付概算払額	85,000円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>4月9日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「食べられる野草の観察」  5月15日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「田植えと生きもの観察」  6月18日10:00～12:00 北方遊水池 「ツバメのふしぎ大発見」  9月10日9:00～11:00 北方ミニ自然園 「稲刈り」  9月25日9:00～12:00 北方ミニ自然園 「脱穀」  10月1日10:00～12:00 北方ミニ自然園・北方遊水池 「秋のトンボ調査」  10月15日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「収穫祭・餅つきと民話語り」  11月19日10:00～12:00 北方遊水池 「冬の野鳥観察」  12月11日13:00～15:30 大野公民館 「わからないリースとしめ縄作り」  2月18日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「春の水辺の自然観察」  (北方ミニ自然園は市民プール前の民有地、北方遊水池は大柏川第一調節池緑地のことで、共に北方町4丁目にあります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数は、合計542人(うち一般市民:397人)でした。</li> <li>・「かかし作り」は雨天のため、「夏の水辺の自然観察」は新型コロナウイルス感染症拡大のため、「団子あげと民話の集い」は会場が確保できなかったため、中止しました。</li> <li>・「田植え」「脱穀」は雨天のため、「わからない」は会場確保のため、延期して実施しました。</li> <li>・アルコール消毒とマスク着用を徹底し、三密回避のため人数制限(予約制)して実施しました。</li> <li>・「収穫祭・餅つきと民話の集い」は、感染防止のためその場で飲食せず、お餅パックによる持ち帰りにして実施しました。</li> <li>・企画を実施するため、ミニ自然園の整備や準備を毎月2回、毎回10人程の隊員で行いました。また、企画の内容の打ち合わせを毎月1回、公民館で行いました。</li> </ul>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミ(大手新聞社等)、ミニコミ(地域紙等)、合計10社以上に案内の掲載や取材を依頼しました。</li> <li>・回毎に案内チラシとポスターを作成し、周辺の小学校や自治会に配布し、公民館や駅等にも置いてもらいました。</li> </ul>
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察や稲作体験の機会を提供し、子どもも大人も身近な自然や地域の文化に関心を持っていただこうと企画・実施し、参加者から好評を得ました。残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、夏其自然観察が中止になったり毎回到人数制したり、依然として大きかったです。10回実施できました(計画13回)。</li> <li>・人数制限をしたにもかかわらず、小学校低学年の子どもとその保護者を中心に延べ397人(就学前の幼児を含む)の方々が参加されました。参加者は、水田や池などで水辺の生きものに直接触れ合い、自然の中で遊んだり農作業したりして自然の面白さや大切さそれぞれに感じていただけたと思います。</li> <li>・昨年に続き予約制にしましたが、予約完了後も参加希望が殺到し、地域の自然や文化への市民の関心の高さを感じました。</li> <li>・水田や池などの水辺の自然の大切さやそれを守り育てる活動を広くアピールでき、また、地主さんをはじめ地元の方々と交流を深めました。</li> </ul>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般参加者数(隊員を除く)は、昨年度より倍増しました。自然や文化との触れ合いを求める市民、特に子どもとその親のニーズがあり、みずがき隊の活動が認知されてきたと思います。より一層の企画の充実と情報発信や宣伝の工夫が、引き続き課題です。</li> <li>・来年度も、新型コロナウイルス対策を踏まえた企画で活動します。特に、地域の文化を紹介する企画として「団子あげ」を復活できるように検討したいと思います。</li> <li>・環境や文化に対する意識を高め、地域の自然や文化を豊かにするため、緑のみずがき隊の活動をさらに広げたいと思います。</li> </ul>



(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 田植えと生きもの観察

撮影年月日: 2022年5月15日



タイトル : わらないリースとしめ縄作り

撮影年月日: 2022年12月11日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	40,300	収穫祭 大人100円×33名、小学生200円×11名 わらないリース作り 大人300円×17名、小学生100円×7名、その他100円×191名 合計40,300円
寄附金収入		
補助金収入	85,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	65,527	団体の本会計より充当
合計	190,827	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	11,000	8,000	外部講師謝礼 市川民話の会5,000円×1回・都市鳥研究会 3,000円×2回
交通費			
消耗品費	82,216	80,800	別添参照
印刷製本費	4,321	4,000	緑の寺子屋・楽校9回開催、(各回ポスターカラー11枚チラシ100枚両面コピー)配布資料、コピー¥260、コピー用紙A/3、A/4 ¥344×2、360円、415円、503円
通信運搬費	6,300	6,000	案内ハガキ63円×100枚、計6300円
保険料	11,760	11,200	ボランティア行事用保険 28円×500名=14,000円(幼児含む) -2240(中止による払戻金28円×80名)
使用料	60,990	60,000	土地借用 30,000円×1軒 15,000円×2軒 公民館使用料990円(わらないリース)
原材料費			
備品購入費	14,240		ガーデンアグリパイプ¥712×20本
合計	190,827	170,000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

消耗品費

文具代金374×6=2,244円 布テープ・ポリ袋2種541円 アサヒペイント1958円  
 プリントインク代金6,700円 キグナスガソリン1,560円 スポンジ10個1,280円  
 苗代金13000+5000=18,000円 封筒10枚220円 バンドエイド・  
 トイレットペーパー709円 キグナスガソリン1,481円  
 ガーデニング・フィルター2種740円 レギュラーガソリン1,640円 ロープ3個  
 2,628円 レギュラーガソリン1,610円 雑貨・文具6個660円  
 市川市ゴミ袋・ポリ袋1080円 布テープ・養生テープ4個1,036円 晒布1,540円  
 防虫糸298円 草刈チップソー・グリーススプレー7,282円  
 レギュラーガソリン1,580円 レギュラーガソリン1,580円 文具7個770円  
 フルイ2個・ロープ1,586円 Appホワイトコ382円  
 もみ精米3,200円 片栗粉・スポンジ・たわし・フリーズバック1,693円  
 フードバック398円 文具5個550円 チャッカマン2個・ポリ袋1,573円  
 手提げ袋7個770円 セイロフキン2枚1,824円 ラッカーズスプレー2個655円  
 バインド線・麻ひも929円 醗酵牛糞24個・醗酵鶏糞2個11,032円



様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年 3月 8日

市川市長

団体名 緑のみずがき隊  
(団体番号 10 )  
代表者名 [REDACTED]  
所在地 [REDACTED]

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』

2 変更の内容

次の企画を中止した。

7月16日「かかしを作ろう」

8月20日「夏の水辺の自然観察」

令和5年1月14日「団子あげと民話の集い」

次の企画を日程変更して実施した。

「田植えと生きもの観察」5月14日→5月15日

「脱穀」9月24日→9月25日

「わらないリースとしめ縄作り」12月17日→12月11日

3 変更の理由

企画中止の理由

「かかしを作ろう」は雨天のため。

「夏の水辺の自然観察」は新型コロナウイルス感染症拡大のため。

「団子あげと民話の集い」は感染を防ぐ広い会場の確保が出来なかったため。

企画日程変更の理由

「田植えと生きもの観察」と「脱穀」は雨天順延のため。

「わらないリースとしめ縄作り」は会場確保のため。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年 3月 31日

市川市長

団体名 アシカちゃんクラブ

(団体番号 14 )

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	586,234円
(2) 補助対象経費総額	575,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	知的障害児・者のための水泳療育
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。  (実施時期) 令和4年4月から令和5年3月 (実施場所) クリーンスパ市川 (25メートルプールの2レーンを貸し切る) (内容) 水泳療育専門のコーチより、個々の会員の障害特性に合った身体の動かし方、泳ぎ方等の  受益者延べ人数482名(うち市民の数460人)
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	チラシを作成し、配布を実施した。 内訳は以下の通り。 ・おひさまキッズ 18枚 ・あおぞらキッズ 28枚 ・発達支援課(OT、PTの受付窓口) 10枚 ・市川小、平田小、国分小、信篤小、二俣小、百合大小の特別支援学級在籍の手をつなぐ親の会の会員 36枚 など
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。  参加者は障害児・者の為、一般の水泳教室では受け入れが難しく、本人も楽しく参加することができない場合が多いが、当クラブでは専門家のコーチによって個々の障害の特性に合わせた手厚い指導を受ける事ができる。結果として、単に心身の機能の向上だけでなく、様々な泳法による水泳技能向上をかなえることができた。それは、障害児・者本人にとって大きな自信となり、子どもの余暇の充実は、その家族にも大きな喜びをもたらし、生活を豊かにすることができた。 また、一般の水泳教室を利用する際、付き添う保護者が障害児・者と性別が異なる場合、子ども一人での着替えなどが困難なため通常施設の利用をあきらめなくてはならないことが多い。当クラブでは、性別の異なる保護者と利用できる更衣室を施設に用意してもらい、親子で気兼ねなく安心して利用できるよう準備した。また、コーチや他の保護者に協力を依頼し、着替えスペースに同伴できない保護者のお子さんの着替えの見守ったり、手伝ったりするような仕組みを作った。 知的障害児・者の場合、スポーツを通じての家族同士の交流は一般の社会では難しいが、同じ立場の障害児・者とその家族と一緒に水泳に取り組むことで、会員同士の交流や情報交換が盛んになり、水泳を通じての仲間作りができた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。  昨年度同様、参加者が障害児・者であるため本人単独での来所や参加が難しく、家族の負担となっている。また、本人が参加できる状態でも家族の体調や予定などにより参加できないこともあった。引き続きボランティア等の募集にも力を入れて、本人が自力で参加できるような環境を整えていくことが課題である。  レッスン中プール内で保護者は子どもを注視していなければならないが、プール内で会員同士が交流をはかることが難しい。今後は、会員同士が当クラブの運営を協力して行えるように、プール施設外で情報交換や親睦をはかるための場を増やしていきたいと考えている。

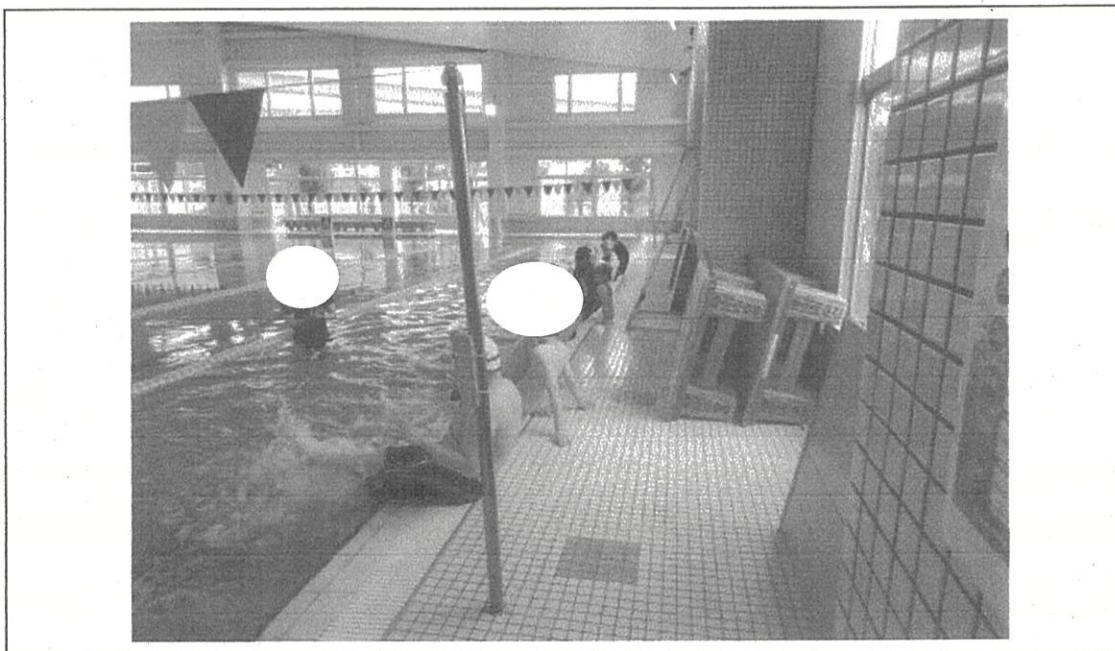


(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

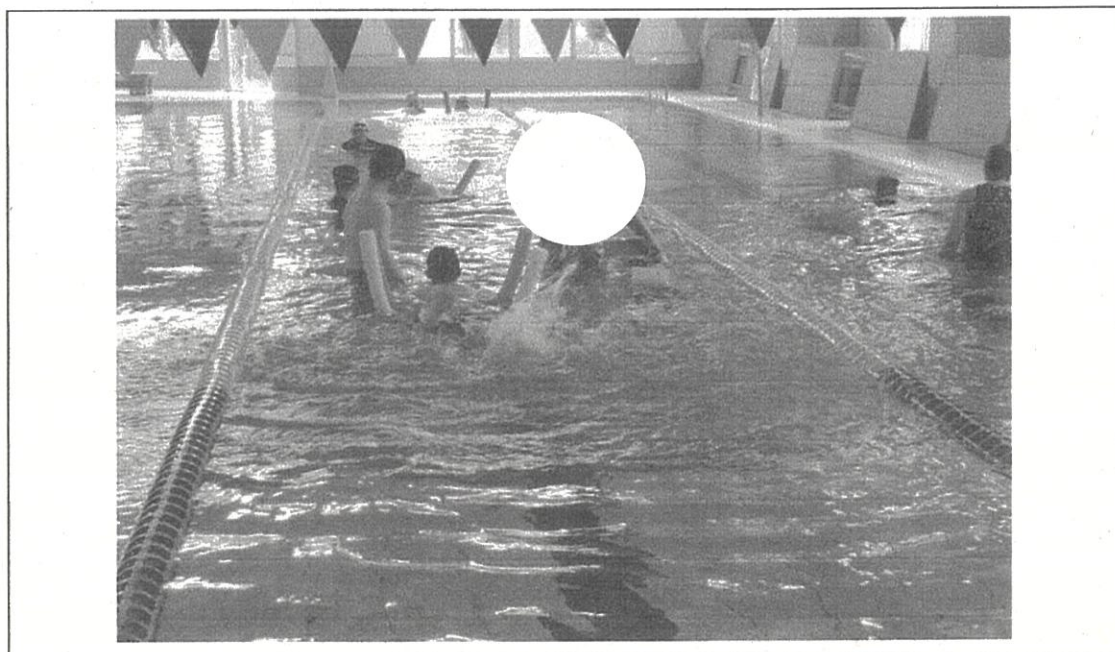
タイトル : 入水前準備運動

撮影年月日 : 令和5年3月25日



タイトル : 個別指導

撮影年月日 : 令和5年3月25日





市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：知的障害児・者のための水泳療育

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	436,234	団体の本会計より充当
合計	586,234	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	575,500	575,500	講師料(3名)27500円/回×20回、学生指導補助員 交通費1,500円/回×17回
交通費	0	0	
消耗品費	0	0	
印刷製本費	0	0	
通信運搬費	5,238	0	レンタルサーバー代
備品	0	0	
懇親会費	4,026	0	懇親会お花代
振込手数料	1,470	0	振込手数料
合計	586,234	575,500	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月31日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人ニッポン  
アクティブライフクラブ市川  
拠点「ナルク市川」

(団体番号 17)

代表者名

所在地

令和4年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	474,526円
(2) 補助対象経費総額	265,540円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>「市民公開講座」事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 別表の通りコロナ禍の状況を見て参加人数を制限し、一部企画変更したが、当初の目的通り多くの市民に足を運んでいただき、一定の成果を上げることができた。 *別表参照</p>
<p>広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>毎月のナルク会報及びチラシを活用してPRし、コンサートは市の広報に掲載して集客に努めた。</p>
<p>補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。  コロナ禍で家にこもりがちなシニアを中心に多くの市民が「集まり」「学ぶ」ことによってストレスの解消、運動不足によるリスクを多少防止した。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。  市民・特にシニアにとって外出の機会を提供することは健康寿命を延ばすことにつながると考えられ、必要な事業であることが認められた。今後も内容を充実して実施していきたい。</p>



## 別紙

## 2022年度市民公開講座事業報告

参加者

7月11日 (月)	「コロナ禍で学んだこと」 ■■■■ (小象の会理事長・内科医)	24
7月15日 (金)	”サマーコンサート” ～ヴァイオリン、チェロ、ピアノの調べ～ アンサンブルくアラバスク	88
9月12日 (月)	「多世代交流で社会を変える」 ■■■■ (千葉商科大学人間社会学部准教授)	22
9月29日 (木)	「商大生のサポートによるスマホ教室」 8月8日(月)に予定した映画会がコロナ第7波のため変更(NPO課と相談の上)	23
10月17日 (月)	「人生会議と尊厳死」 ■■■■ (日本尊厳死協会副支部長)	18
11月14日 (月)	「シニアが安全・便利にスマートフォンを使いこなすコツ」 ■■■■ (シニア社会学会理事・未来サービス研究所所長)	19
12月12日 (月)	「食糧危機に備える食品ロスをなくす食生活の工夫」 ■■■■ (食生活アドバイザー)	15
12月16日 (金)	“クリスマスコンサート” ～ヴァイオリン・チェロ・ピアノの調べ～ アンサンブルくアラバスク	91
1月16日 (月)	”ニューイヤー”コンサート くキャラバンライブ> <i>サラス・ピアノ・ドラムの演奏</i>	77
2月13日 (月)	「介護が必要になった時の対応法」 ■■■■ ((株) winwin 介護相談室長)	24
3月18日 (月)	「70代からのライフプランのすすめ」 ■■■■ (あや行政書士・FP事務所所長)	22

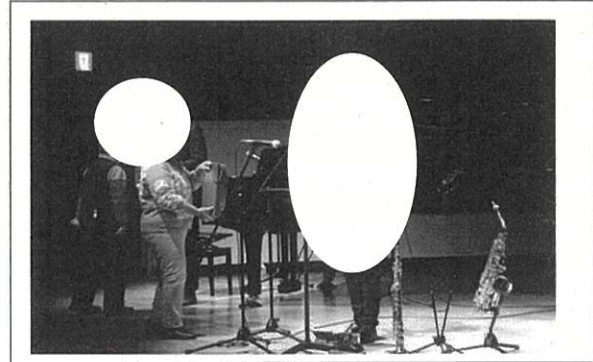
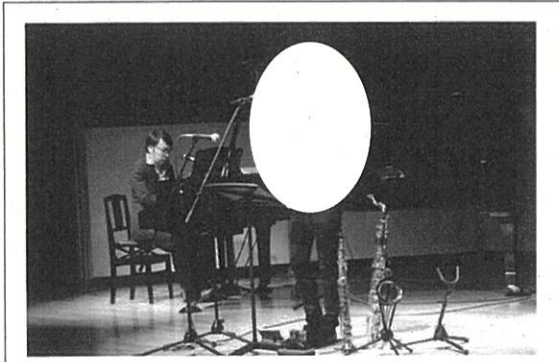
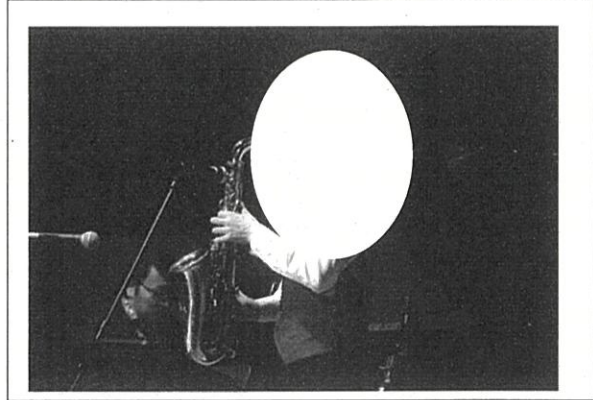
合計 431

(6) その他

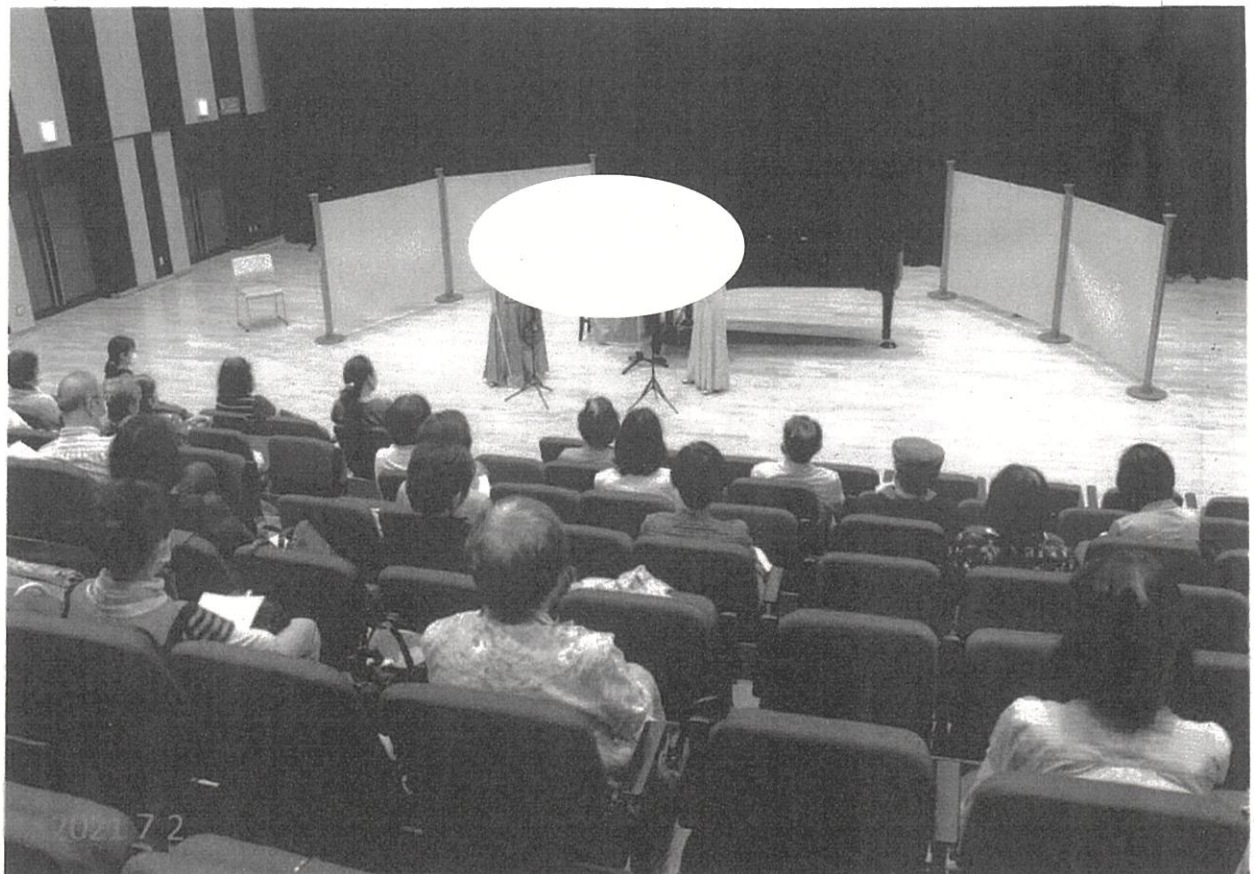
※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ニューイヤーコンサート (キャラバン) ランプ

撮影年月日: 2023年1月16日. 全日警ホール



キャラバンコンサート 2023/1/16 於全日警ホール



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称:「市民公開講座」事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	
その他 (助成金等)		
会費充当	341,756	団体の本会計より充当
補助金返金	-17,230	
合計	474,526	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	282,000	260,000	外部講師等の招へい あり/なし
交通費	30,820	5,540	
消耗品費			
印刷製本費	77,706		
通信運搬費	84,000		
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費			
合計	474,526	265,540	

※ 領収書(原本)を添付してください。



様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

4  
5 年 9 月 6 日

市川市長

団体名 ナルク市川  
(団体番号 17 )  
代表者名 [REDACTED]  
所在地 [REDACTED]

令和4年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動  
団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をし  
たいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

市民公開講座事業 「映画上映会」 卒業の下ご

2 変更の内容

8月に実施予定の コロナ感染拡大のため 9月に「又木ホテジ」に

3 変更の理由

コロナの感染拡大のため密になる企画をせめて  
個別に対応できる「高校生がサポートする又木ホテジ」に



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月31日

市川市長

団体名 MOA食育ネットワーク千葉・  
ハピネスクラブ

(団体番号 18 )

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	203,771 円
(2) 補助対象経費総額	69,531 円
(3) 補助金交付決定額	67,095 円
(4) 補助金交付概算払額	67,095 円

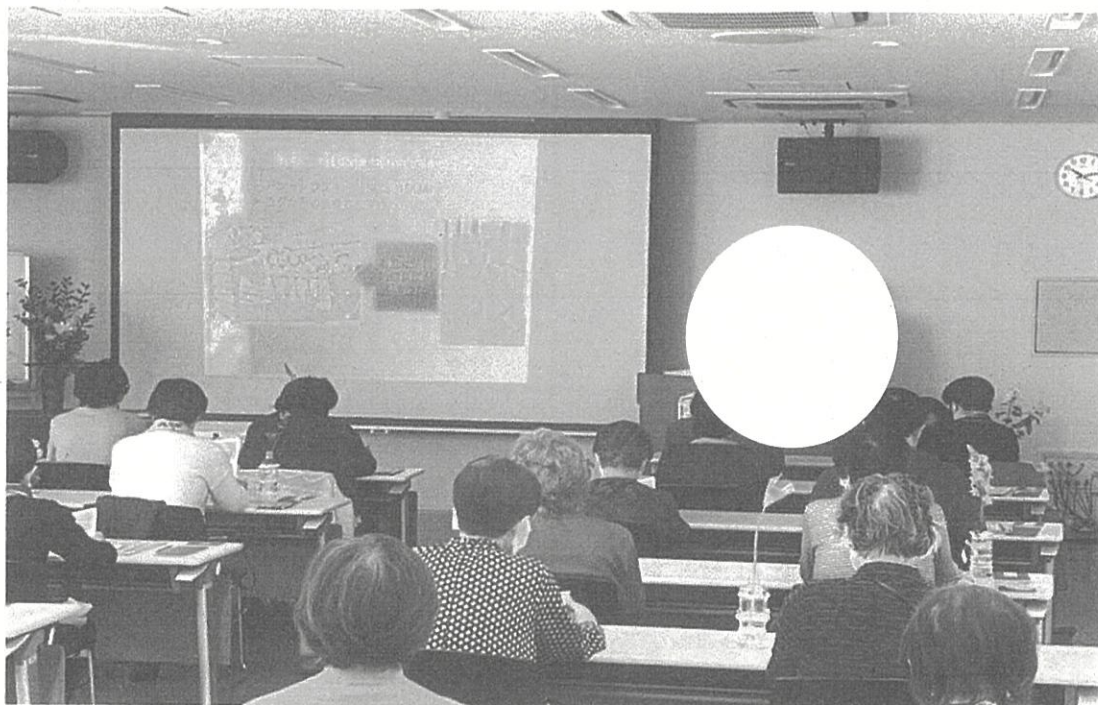


(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>健康を守る自然食中心の食育推進事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。          新型コロナウイルス感染流行の影響で公民館調理室の閉鎖から計画しておりました食育セミナーはできませんでした。          健康チェックセミナーは全日警ホール（市川市市民会館）にて11月27日に開催できました。三密を回避できる広い会場にて「あなたの健康チェック」講演：ストレス抵抗力を高める岡田式健康法と体験会を参加者15名、講師及びスタッフ20名にて実施致しました。          市民祭りに参加し岡田式健康法と肩こり度計測と花輪癒しコーナーを開設し参加者に喜んでいただきました。          行徳地区でバイオリン演奏会と読み聞かせの癒しプログラムを開催致しました。          自然農法の手造り味噌づくりは会場を選び計画通りできました。</p>
<p>広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>市川市のボランティアセンターのWEBに開催案内を掲載          行徳地区をはじめ市川市内に広くお住いのこれまでご縁の有った方々にパンフレットを配布またハガキ送付などで参加者を募集しました。</p>
<p>補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。          講演「ストレス抵抗力を高める岡田式健康法」をMOA健康科学センター研究部の■■■■博士に行って頂いた後健康度チェックを行いました。          具体的には肩凝り度チェックを岡田式浄化療法の体験を30分行いその前後の肩凝り度の事前計測、事後計測を行い変化を実感して頂きました。          その後参加者の質疑応答を受け、討論会を行いました。          参加者の皆様には講演内容から、又健康法体験から、日頃の自然食による健康食の取り入れや運動の大切さ、健康法実践等が健康に役立つことをお伝え出来ました。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。          新型コロナ感染パンデミックの発生から日頃公民館の調理室を会場とした食育セミナーが全く出来なくなって今後の活動を心身ともに健康となるように、情報を発信する活動を展開して参ります。自然食や自然農法の作物を取り入れ健康に役立つ情報をいかに伝えるかホームページやユーチューブを使ったリモートによるお知らせなど検討しています。</p>



「あなたの健康チェック」



いちかわ市民まつり



## 市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：健康を守る自然食中心の食育推進事業

## 1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	119,920	参加費(参加者63人)
寄附金収入	20,000	明社会
補助金収入	67,095	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	29,086	団体の本会計より充当
	0	
補助金返金	-32,330	
合計	203,771	

## 2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	35,000	35,000	癒しのひと時バイオリン奏者、読み聞かせ講師8,000、MOA健康科学センター研究部次長&看護師10,000x2、市民祭り健康チェック7,000
交通費	0	0	駐車料金
消耗品費	13,731	13,731	花材、消毒液、その他雑費
印刷製本費	1,850	800	コピー代
通信運搬費	0	0	ハガキ代
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	
使用料及び賃借料	32,740	20,000	市民会館補助対象外、市民祭り参加費、東京富士美術館
施設入場料	0	0	
味噌材料	97,440		手作り味噌キット代金
昼食費	23,010		「健康チェック」市民祭り他スタッフ昼食代
合計	203,771	69,531	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和 5 年 3 月 31 日

市川市長

団 体 名 MOA 食育ネットワーク千葉・  
ハピネスクラブ

(団体番号 18 )

代表者名

所在地

令和 4 年 4 月 1 日付で交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、  
下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称 健康を守る自然食中心の食育推進事業
- 2 変更の内容 新型コロナウイルス感染を予防しつつ、皆様の健康生活に役立つことを願って、次の様なプログラムを開催致しました。

5, 9 月食育セミナーに合わせ、読み聞かせとバイオリン演奏会、一輪の花の癒し 11 月  
健康増進セミナー「あなたの健康チェック」、2 月自然の味噌作り

その他計画しておりましたプログラムは開催できませんでした。

3 変更の理由

食育セミナーは公民館の調理室閉鎖や利用制限で、中止されました。その他の食育や自然  
農法に関する事業等多くの企画を考えておりましたが新型コロナウイルス感染に対する緊急  
事態宣言や蔓延防止宣言の下で中止の止む無きに至りました。

以 上





市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年11月21日

市川市長

団体名 古事記に親しむ会

(団体番号 19 )

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	253,095
(2) 補助対象経費総額	165,360
(3) 補助金交付決定額	90,000
(4) 補助金交付概算払額	90,000



(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>第2回 古事記に親しむ会 講演会</p>
<p>補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 計画通りに、千葉大学名誉教授・[ ] 及び 千葉大学教授・[ ] 先生を招聘し、古代文学「古事記」、「日本書紀」、「万葉集」、「常陸国風土記」に関する講演会を開催しました。参加者が、170名（その内招待者3名、学生2名）となり、入場者制限がギリギリのところであった。</p>
<p>広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>(1) チラシの配布：6,000枚を配布しました（主たる配布先は、市川市の施設・85ヶ所及び千葉市の施設・47ヶ所）。(2) 後援は、3カ所（千葉大学、千葉県、市川市）から取得しました。(3) マスメディアによる告知2カ所（市川市広報、ちいき新聞）を通じて行いました。(4) ホームページを追加修正し参加呼びかけをしました。</p>
<p>補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 今回のイベントを通じて、(1) 弊会は真摯に日本最古の歴史書・古事記を学んでいることを市民にPRでき、又、会員が減少傾向にある現況下3名の方からの入会申し込みがありました。(2) 市川市長（田中 甲 様）もご臨席頂き、行政と一体となり、芸術文化活動を推進していることを市民に訴えることが出来ました。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 今回の講師は、二人とも大学教授であり、専門性が高かったきらいはあります。古代の神話と伝説を普及するとの観点からは、今後は、素人受けのするイベントを企画・実施していく方針です。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第2回古事記に親しむ会 講演会

撮影 2022年10月15日 :



タイトル : 第2回古事記に親しむ会 講演会

撮影 2022年10月15日 :





## 市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 第2回 古事記に親しむ会 講演会

## 1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	165,000	チケット販売収入(1,000円X165枚)
寄附金収入		
補助金収入	90,000	市川市市民活動団体事業補助金(概算払)
その他 (助成金等)		
会費充当	5,415	団体の本会計より充当
補助金返金	-7,320	概算払受領90,000円-実際の補助金収入82,680円
合計	253,095	

## 2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	130,000	100,000	講師料・2名(60,000円+70,000円)
交通費	800	0	
消耗品費	26,058	20,000	封筒、用紙、プリンターインク等
印刷製本費	15,360	15,360	チラシ印刷、コピー代等
通信運搬費	30,984	30,000	チラシ配布用切手等郵便代
使用料及び賃借料	13,970	0	全日警ホール(市川市の後援により使用料半額)
HP修正制作費	20,000	0	
反省打合せ費	15,923	0	参加者・9名
合計	253,095	165,360	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月29日

市川市長

団体名 NPO法人市川子どもの外遊びの会

(団体番号 20)

代表者名

所在地

令和<sup>4</sup>年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	301,432円
(2) 補助対象経費総額	300,132円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>実施時期 令和3年4月～令和4年3月(8月、2月を除く) 第2・第4土曜日 計17回 (荒天時は中止)</p> <p>実施場所 宮久保プレーパーク</p> <p>内容 子どもたちが自由に遊べる外遊びの場(プレーパーク)の開催</p> <p>参加者数 のべ900人 (乳幼児279人、小学生268人、中学生27人、大人326人)</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所でのチラシ配布</li> <li>・地元自治会掲示板でのポスター掲示</li> <li>・ホームページ、SNSに情報掲載、メールマガジンの発行</li> <li>・会報の発行(年4回)</li> <li>・市川駅南口図書館・クリーンスパ市川にて活動中の写真の展示</li> </ul>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>外部よりプレイワーカーを招くことができ、安全かつ自由な外遊びの環境をある程度整えることができた。</p> <p>毎回継続して遊びに来る小学生が多く、さらには中学生の参加も増え、子どもたちの居場所として機能できた。</p> <p>また、乳幼児親子の参加も多く、保護者が楽しみながら、小さな子どもたちを安心して外遊びさせられる環境作りに貢献できた。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>より安全で自由な遊び環境を整えるためには、プレイワーカーが2人いることが望ましいが、現状では人材確保や費用負担の面で実現が難しい。</p> <p>これを補うため、活動をサポートしてくれるボランティアを募った。その結果、のべ26人のボランティアの協力を得ることができた。</p>

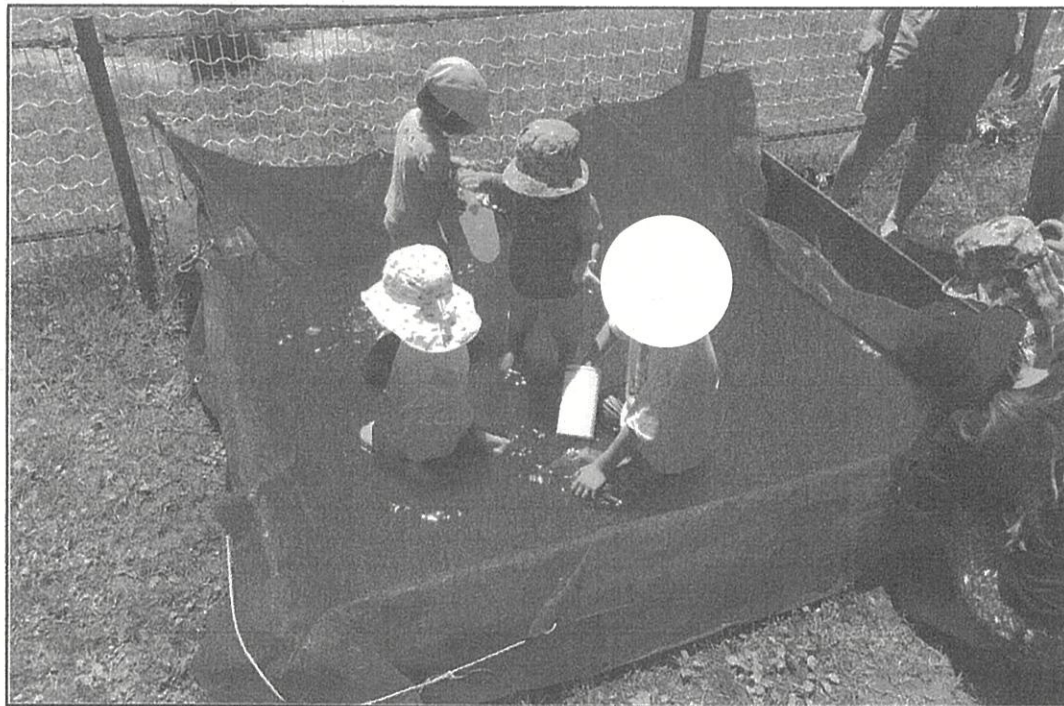


(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 水遊びをする子どもたち

撮影年月日: 令和4年6月25日



タイトル : 火おこしをする子どもたち

撮影年月日: 令和4年10月8日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	151,432	団体の本会計より充当
補助金返金	0	
合計	301,432	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	255,000	255,000	プレイワーカー謝礼15000円×17回
交通費	16,850	16,850	スタッフ交通費 のべ44人分
消耗品費	20,132	20,132	ブルーシート2376、着替えテント7960、 タイヤ3256、印刷用紙1534、インク2056、 テーブル1628、ペーゴマ1322
印刷製本費	6,300	5,000	チラシ印刷3750+2550円
通信運搬費	0	0	振込手数料
保険料	3,150	3,150	ボランティア保険 350円×9人
使用料及び賃借料			
合計	301,432	300,132	

※ 領収書(原本)を添付してください。